

<講座のお申込みについて>

応募期間：2011年10月7日(金)9:00～10月31日(月)17:00※

募集定員：各講座 70名 ※定員に空きのある場合は10月31日以降も予約を承ります。

受講料：各講座 10,000円 振込期限：11月4日(金)

<ご予約のご案内>

講座予約は、公開学習センターへファックス、またはE-mailをお送りください。

FAX番号：03-3238-4310 または、E-mail：masanobu_fujita@cl.sophia.ac.jp

(※ファックスにてお申込みの場合は、このページの下にある申込フォームをご利用ください。)

<申込方法>

1. 個人情報をご提供ください

①氏名(ヨミガナ)、②郵便番号・住所、③電話番号(緊急連絡先として使用可能なもの)

※上智大学、聖母大学のご関係者(卒業生等)の場合は、割引を受けられる場合がありますので、卒業年度と卒業学部・学科、修了研究科・専攻、または短期大学および専門学校名を併せて教えてください。

2. 受講を希望する講座の講座名、または講座番号をご記入(入力)ください。

※講座番号【8111】：「災害・環境問題と日本の将来」

講座番号【8112】：「アンコール・ワットの歴史は塗り替えられた—274体の仏像発掘と王道調査から」

3. ご予約いただいた方には、「受講料振込依頼書」を郵送いたしますので、受講料振込期限までに、指定の銀行口座へ受講料をお振込ください。

4. 講座の変更、およびキャンセルにつきましては、お電話(03-3238-3551)にてお問合せください。

5. 入金が確認でき次第、受講証を郵送いたしますので、受講証に記載の教室に直接お越しください。

※予約期間終了後、講座定員に空きがある場合は10月31日(月)以降も予約を承ります。

(まずは講座の空き状況について、公開学習センターへお電話(03-3238-3551)にてご確認ください。)



2011 SOPHIA UNIVERSITY EXTENSION PROGRAMS

ソフィア・コミュニティ・カレッジ
上智大学公開講座 (2011年11月～)

<講座ラインナップ>

◆「災害・環境問題と日本の将来」(P.2)

講師：経済学部 鬼頭 宏 教授 他

◆「アンコール・ワットの歴史は塗り替えられた—274体の仏像発掘と王道調査から」(P.3)

講師：前学長／アジア人材養成研究センター 石澤 良昭 所長 他

★予告：講座テーマ「共に生きるとは」(P.3)

講師：上智大学神学部教授 他

◀こちらを先頭にして、このままファックス送信してください。

FAX 03-3238-4310

上智大学公開学習センター 行

下記のとおり、大阪サテライトキャンパス公開講座(8111 or 8112 or 両方)に申し込みます。

1. 受講者情報

ヨミガナ

氏 名：

電話番号：

〒

住 所：

※上智大学・聖母大学関係者ですか？(YES・NO ←どちらか当てはまるものに○をしてください)

YESの方について、ご卒業(修了)年度と学部・学科(研究科・専攻)・短期大学名をご記入ください。

年 月 学部・研究科・短期大学・社会福祉専門学校

学科・専攻 卒業・修了

※在学生のご家族の方は、こちらにご記入ください。

続柄：

学生氏名：

学生番号：

所属：

大阪サテライトキャンパス



主催 上智大学公開学習センター

電話03-3238-3551

上智大学大阪サテライトキャンパス

住所：大阪府大阪市北区豊崎3-12-8／電話06-6450-8741

センター長ご挨拶

ソフィア・コミュニティ・カレッジでは、大学での研究教育の成果を社会に還元することで、地域社会の向上と活性化に貢献できればと考えています。そのため社会人はもちろん、これから大学で学ぼうとする高校生なども視野に入れ、幅広い年代の方に学びの場を提供できるよう、さまざまな分野の講座を数多く開講しています。

このたび2011年4月に、本学は大阪・梅田に大阪サテライトキャンパスを開校いたしました。

関西圏にお住まいの皆様におかれましても、本学のサテライトキャンパスで向学心の芽を大きく育てていただきたく、公開講座についてご案内申し上げます。



上智大学公開学習センター長
(上智大学経済学部教授)
菊井 高昭

社会問題

講座番号：8111

講座名：「災害・環境問題と日本の将来」
コーディネーター：鬼頭 宏

会場は、大阪サテライトキャンパス (P.3参照)
講義時間帯は、いずれも午後7時～8時30分 (90分)
講義日：11月11日(金)、17日(木)、25日(金)、12月2日(金)

1 テーマ：「21世紀の日本：人口減少と地球環境問題」

講義日：2011年11月11日(金)／講師：鬼頭 宏 (経済学部・教授)
＜講義概要＞

21世紀は地球環境問題の世紀と言われる。世界人口は増加を続けている。アジア、ラテンアメリカ、そしていずれはアフリカ諸国も、ますます経済を成長させていこう。環境と資源をめぐる問題をはらむ21世紀の文明を、人口が減少に転じた日本の立場から論じてみたい。



2 テーマ：「地球温暖化：原因と解決策」

講義日：2011年11月17日(木)／講師：鷲田 豊明 (地球環境学研究科・教授)
＜講義概要＞※11月17日のみ木曜日の開講となりますので、ご注意ください。

地球温暖化は今世紀中、最も重要な地球環境問題となる。二酸化炭素などの温室効果ガスによって、地球が透明な幕によってシールドされることが原因である。二酸化炭素の排出は、人の日常生活と産業活動の結果であり、われわれの社会システムの新たな進化が求められる。どのような解決の道筋があり得るのか、また望ましいのかを解説する。



3 テーマ：「エネルギー問題：資源・環境問題」

講義日：2011年11月25日(金)／講師：池尾 茂 (理工学部・教授)
＜講義概要＞

福島原発の事故以前から、地球温暖化、化石燃料資源の枯渇に関連して今後のエネルギーをどうするのが議論されてきた。本講義では、我々は膨大なエネルギーを何に使っているのか、限りある化石燃料資源をどのように使っていけばいいのか、再生可能エネルギーをどのように取り入れていけばいいのか、原子力エネルギーにどのように取り組んでいけばいいのかなどについて述べる。



4 テーマ：「生物多様性：里山・里地・里海の役割」

講義日：2011年12月2日(金)／講師：あん・まくどなど (地球環境学研究科・教授)
＜講義概要＞

持続型社会づくりを考えるために、過去から学べるもの、活かせるものとして、日本には里山・里海がある。長年にわたり、人間と自然界の相互作用を通してつくりあげられたもので、里山・里海は食料、木材の供給、気候の調整、生物多様性保全、文化創成などを通して、さまざまな恵みをもたらしてきた。しかし、いま社会変化によりそれらの役割が衰退し、喪失へ向かいつつある。現場からの事例をあげながら、未来にむけて、里山・里海ポテンシャルについて考えてみる。



※講師の都合により、日程を変更する場合がありますので、予めご了承の程お願いいたします。
※入室の際に受講証の確認をさせていただきますので、ご受講の際は受講証をご持参ください。

★講座申込の詳細につきましては、P.4を参照ください。★

歴史・文化

講座番号：8112

講座名：「アンコール・ワットの歴史は塗り替えられた—274体の
仏像発掘と王道調査から」／コーディネーター：石澤 良昭

会場は、大阪サテライトキャンパス (下図参照)
講義時間帯は、いずれも午後1時～2時30分 (90分)
講義日：11月12日(土)、19日(土)、26日(土)、12月3日(土)

1 テーマ：「アンコール王朝繁栄と王たちの物語」 講義日：2011年11月12日(土)

講師：石澤 良昭 (前学長／アジア人材養成研究センター所長)
＜講義概要＞

アンコール王朝は、日本の邪馬台国の卑弥呼と同じ3世紀頃に始まった。アンコール王朝時代の人々は自然の恵みを活かし、インドからヒンドゥー教と仏教を受け入れ、8世紀はじめには今のアンコールの大地に拠点造成し、熱帯雨林を切り拓きつつ、約550年かけてアンコール文明を構築していった。今回は、274体プラス6体の廃仏毀釈問題を取り上げ、フランス極東学院が提起した王朝滅亡の「建寺疲弊説」について言及し、歴史の塗り替えの仮説を提案する。「すべての道はアンコールへ」論に迫りたい。



2 テーマ：「アンコール遺跡の考古学」

講義日：2011年11月19日(土)／講師：中尾 芳治 (元帝塚山学院大学 教授)
＜講義概要＞

アンコール王朝最盛期に、ジャヤヴァルマン7世 (1181年～1220年頃) によって建立された仏教寺院であるバンテアイ・クデイ寺院跡の発掘調査の成果と課題、カンボジア人によるアンコール遺跡の調査と保存修復を目指した、人材養成活動について報告する。



3 テーマ：「274体の仏像発見と発掘調査」

講義日：2011年11月26日(土)／講師：上野 邦一 (奈良女子大学 名誉教授／上智大学 客員教授)
＜講義概要＞

274体の発見の話を始めると、よく質問を受ける。仏像があるのがどうやってわかったのか、と。仏像の発見は、偶然である。まったく予期しなかったことが発掘調査でできるときがある。274体の仏像を発見した経緯と、取り上げた3回の発掘調査の概要、調査の過程で考えたことを報告する。



4 テーマ：「アンコール王朝の仏教寺院」

講義日：2011年12月3日(土)／講師：菱田 哲郎 (京都府立大学 教授)
＜講義概要＞

アンコール王朝のなかでも仏教に帰依したジャヤヴァルマン7世の時代、仏教寺院が数多く建立された。その一つであるバンテアイ・クデイ寺院の発掘調査成果をもとにして、カンボジアにおける仏教の展開過程をあとづける。そして、東アジアの仏教との共通点や相違点を考古学的な所見から明らかにし、埋められた仏像の意味を考察し、その遺跡に向けられた仏教徒のまなざしにも言及することにした。



※講師の都合により、日程を変更する場合がありますので、予めご了承の程お願いいたします。
※入室の際に受講証の確認をさせていただきますので、ご受講の際は受講証をご持参ください。

大阪サテライト キャンパスへの アクセス



宗教学・人間学系講座 予告

講座テーマ「共に生きるとは」

＜コーディネーター＞

神学部 山岡 三治 教授

(上智学院総務担当理事)

＜講師陣＞

上智大学神学部教授、および上智大学緑のイエズス会士が担当予定

2012年2月～開講予定

★講座申込の詳細につきましては、P.4を参照ください。★